

表題 「連続的な大学発スタートアップの創出」を目指す京阪神大学コンソーシアムKSAC

取組の様子

特色ある取組



(学生ピッチイベントを開催)

京阪神スタートアップ・アカデミア コアリション (KSAC) には、2022年4月現在、京阪神地域の15大学が参加し、起業活動支援・アントレ教育・起業環境整備・エコシステム形成活動を統合的に進めています。京都大学が主幹機関を務め、京都大学・大阪大学で運営した官民イノベーションプログラムの経験を共有することで、「連続的な大学発スタートアップの創出」と「アントレプレナーシップ人材のすそ野の拡大」を実現し、スタートアップ・エコシステム拠点都市「大阪・京都・ひょうご神戸コンソーシアム」が目指すビジョンの実現にも貢献します。

(1) 起業活動支援プログラムの運営

KSACに参加する大学の研究者や学生からインパクトのあるアカデミックシーズを募集し、研究開発費の配賦とスタートアップ設立へ向けたハンズオン支援を提供しています。また、起業家候補者を集めるプラットフォーム「ECP-KANSAI」も立ち上げました。

(2) アントレプレナーシップ人材育成プログラムの開発・運営

拠点都市全体の大学をはじめとする多様な機関の活動を有機的に連結させ、拠点都市全体の共通インフラとしての起業家教育の実現を目指しています。その第一弾として、広範な大学機関における希望者が、興味のあるプログラムを受講できるようにする地域共通基盤ウェブサイトを構築しました。

(3) 起業環境の整備

KSACの起業活動支援の場として、5つの拠点(京大、阪大、大工大、大阪産業局、神戸大)に試作機器や動画撮影設備等を整備し、本プラットフォームのスタートアップ創出や人材育成活動を促進させるイベント等も行っています。

(4) 拠点都市のエコシステムの形成・発展

Demo Dayやピッチイベント、勉強会等を開催し、外部のスタートアップ創出推進プログラムやVCとの相乗的な連携を推進しています。

<https://doon-web.jp/#>

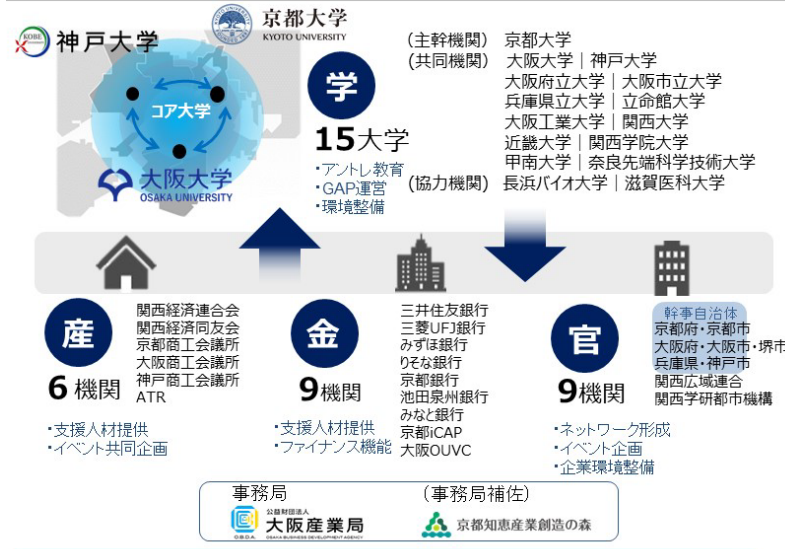


(アントレプレナーシップ教育プラットフォーム Doon!)

期待できる成果・評価 など

大学・自治体・産業界・金融界から参加するすべての機関の特徴を活かした有機的な連携を通じて、都市を超えた人材・研究課題・資金の好循環を生み出すことが期待できます。バイオ・ヘルスケア・ライフサイエンス・ものづくりや情報通信分野を中心に、2025年度末には2社のユニコーンを含む、90社以上の大学発スタートアップを連続的に創出し、プラットフォーム全体で起業家人材のすそ野を拡大することで世界に伍するスタートアップ・エコシステムの構築が推進されます。今後、新規に参加する大学を増やし、京阪神地域が一体となることで、多様性に富む参画大学の魅力を最大限に引き出し、プラットフォームとしての相乗効果を生み出していきます。

本プラットフォームの体制



スタートアップの連続創出

参考URL

- ・ KSAC HP  
<https://ksac.site/>
- ・ 産官学連携本部 HP  
<https://www.saci.kyoto-u.ac.jp/topics/news/12714.html>